

日程表

9月18日(土) 9:00~10月17日(日) 17:00 オンデマンド配信

- 基調講演** 草間 朋子 (日本放射線看護学会理事長、東京医療保健大学名誉教授)
「放射線防護のキーパーソンとしての看護職を目指して」
- 特別講演** 今井 雅 (弘前大学大学院理工学研究科)
「あなたの津軽弁を共通語に ~弘大×AI×津軽弁の取組み~」
- 教育講演1** 三浦 富智 (弘前大学被ばく医療総合研究所リスク解析・生物線量評価部門)
「染色体異常から医療被ばくおよび職業被ばくを考える」
- 教育講演2** 村井 均 (医療法人香木会伊藤病院)
「放射線被ばくの不安の背景と対応」
- 教育講演3** 掛田 伸吾 (弘前大学大学院医学研究科放射線診断学講座)
「Radiologyの最前線と最近の話題」
- 教育セミナー** 向後 千春 (早稲田大学人間科学学術院)
「わかりにくいことをどう教えるか」
- スペシャルインタビュー (弘前大学大学院保健学研究科共催)**
ペナルティ ワッキー (吉本興業)
「病気を乗り越え今を語る」
- 一般演題**

9月18日(土) ライブ配信 9:00~17:00

9:00~9:10	開会式 学術集会長：野戸 結花 (弘前大学大学院保健学研究科) 挨拶：齋藤 陽子 (弘前大学大学院保健学研究科長)
9:10~10:00	会長講演 学術集会長：野戸 結花 (弘前大学大学院保健学研究科) 「放射線看護のかたち~変わらないもの、変わりゆくもの~」 座長：第11回学術集会長 桜井 礼子 (東京医療保健大学立川看護学部)
10:10~11:40	リレーシンポジウム1 コロナ禍における放射線治療継続のための挑戦と展望 シンポジスト：若月 優 (国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構QST病院) 塚田 真弓 (東邦大学医療センター大森病院) 北爪 麻紀 (東邦大学医療センター大森病院) 座長：守屋 靖代 (昭和大学病院) 漆坂 真弓 (弘前大学大学院保健学研究科)
11:45~12:35	編集委員会企画 優秀論文賞受賞講演
12:30~14:00	交流集会1 三浦 浅子 他 (福島県立医科大学) 放射線治療を受けるがん患者のセルフケア支援について~患者の症状マネジメント能力を引き出す支援ツールの開発~
14:00~15:30	交流集会2 山口 拓允 他 (公益財団法人原子力安全研究協会放射線災害医療研究所) 福島第一原子力発電所事故後に実践された看護職による放射線リスクコミュニケーションから今後の人材育成を考える 交流集会3 富澤 登志子 他 (弘前大学大学院保健学研究科) コロナ禍における新たな人材育成の在り方：ハイブリット研修からVRまで
15:30~17:00	交流集会4 大石 景子 他 (国立病院機構長崎医療センター) 放射線診療における困難事例に関する検討会第3回 交流集会5 佐藤 良信 他 (福島県立医科大学附属病院) 「放射線看護キャリア開発グループ」の設置と活動の発展に向けて、第1回学術集会交流集会

9月19日(日) ライブ配信 9:00~16:00

9:00~10:30	交流集会6 西沢 義子 他 (弘前医療福祉大学) 放射線看護モデルシラバスの活用に向けてーモデル授業 その2 放射線看護ー
	交流集会7 吉田 浩二 他 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 看護職対象の原子力災害医療研修会を考える
10:30~12:00	交流集会8 松成 裕子 他 (鹿児島大学) 放射線看護高度看護実践者による放射線リスクコミュニケーションとは
	交流集会9 佐藤 美佳 他 (福島県立医科大学大学院医学研究科) 東日本大震災・原子力災害からの教訓を語り継ぎみらいへ-福島の10年を振り返り、私たちができること-
13:00~14:00	日本放射線技術学会との共催企画シンポジウム シンポジスト：松原 孝佑 (公益社団法人日本放射線技術学会放射線防護部会長) 放射線業務従事者の現任教育の充実に向けて 草間 朋子 (日本放射線看護学会理事長) 放射線診療従事者としての看護職に対する放射線教育のあり方・やり方 座長：堀田 昇吾 (東京医療保健大学) 新井 龍 (湘南鎌倉医療大学)
14:10~15:40	リレーシンポジウム2 サステイナブルな看護を支援するテクノロジー シンポジスト：宮下 育也 (青森県産業技術センター工業総合研究所) 藤淵 俊王 (九州大学大学院医学研究院保健学部門) 座長：富澤 登志子 (弘前大学大学院保健学研究科)
15:50~16:00	閉会式 次期開催地ご挨拶